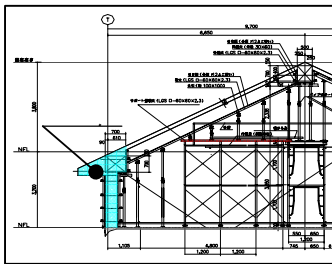


社 報



新入社員紹介



氏名:河野直樹(かわのなおき)
 所属:浦谷工事部
 出身:三重県
 高校:県立上野工業高校
 生年:S63.7.16(18歳)
 趣味:スポーツ(野球)

今年は1人しか採用できませんでした。来年は求人に力を入れて、もっと大勢の若者を採用したいと考えています。

支保工倒壊災害！(大災害)

3月9日に支保工倒壊という大災害が当社の現場で発生しました。幸いにも人災はありませんでしたが、支保工倒壊は大災害であり、一歩間違えれば、多数の死傷者を出していた可能性もあり、大惨事にもなりかねない、大事故でした。

起きてしまったことは取り返しがつきませんが、2度とこのような事故を起こさないように、現場の管理を徹底しましょう。

事故概要

勾配スラブ(6寸)をビームにて施工後、コンクリート打設後に、サポートを建てていた足元鋼管に許容荷重以上の荷重がかかり、損傷し支保工が倒壊した。幸いにも梁スラブは床まで落下せずに、支保工構台まで落下して止まり、大崩壊はまぬがれた。

事故原因

支保工構台が1200mmピッチで、ビーム受梁の支柱ピッチが850mm

で、ピッチが合わず、枠組の建地間に鋼管をシングルで渡しかけ、その上に、梁ポストを設置したこと。

事故背景1

当初、スラブは勾配がきついで在来ポスト工法で計画していたが、支保工構台を減らすために、元請の要望を取り入れビーム工法に計画を変更した。支保工構台ピッチは、在来ポスト工法時1200mmであったが、ビーム工法に変更した時、構台ピッチを変更しなかった。

事故背景2

構台に渡しかけた鋼管がかなり錆びており、強度が不足していたこと。

事故背景3

梁根太ジョイントが短バタで2ヵ所支持でなく、1ヶ所支持であること。

2度と起こすな

支保工倒壊！



足場から足を滑らし墜落:休業災害が発生！

上記の支保工倒壊の現場で、労災が発生しました。

枠組足場上の短バタを取りに行こうと足場小口を伝い降りて、布板に足を掛けたところ、コンクリガラに足を取られて滑り、約1.9m下に墜落した。

被災者:和田實夫さん 69歳 経験24年
 所属:野瀬工事部-竹島工事部(応援)

被災状況:肋骨骨折 休業1ヶ月
 問題発生！

発生日時:3月31日9:30頃

であったが、当日は痛みを我慢して帰宅し、翌々月曜日に病院に行き、休業災害と判明した。

災害は発生した時点で、元請にすぐ報告して、病院へ行くこと。

2007年 安全成績

現場災害 H19.1.1-H19.4.7	
休業災害	----- 1
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 1
合計	----- 2
交通災害 H19.1.1-H19.3.10	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0